

産業建設委員会

鳥獣害防止施設整備 事業費補助金

問

電気柵の設置による効果は出ているか。

答
(産業経済課)

平成21年度の調査では、被害面積が24・3[㊦]、被害金額が2906万円、22年度では、被害面積が16・8[㊦]、被害金額が2452万6000円で、被害面積・被害金額とも減ってはきている。

ただ、電気柵だけでは対策が不十分で、地元の対応や環境整備が大事ではないかと考える。

下水浄化センター 水処理施設増設工事

問

既存の1系列目と今回増設しようとする2系列

目の施設とでは、能力的な違いはあるか。

答
(下水道課)

能力は同じであるが、耐震診断等の関係もあり、当初の計画より杭の長さが11[㊦]程度長くなった。

また、コンクリートの厚さや鉄筋の量など当初とは違った設計である。



増設中の下水浄化センター

産地水産業強化支援 事業費補助金

問

来年度、豊田漁港内に設置予定の製氷施設はど

答
(産業経済課)

全体事業費は1億8120万円、建築主体として、建物が6165万円、電気設備工事が895万円、機械施設としてメインとなる製氷施設が1億83万円、給排水設備衛生工事として457万円、設計費が350万円、工事監理の費用が170万円である。

製氷機は日量約5[㊦]の製氷能力があるものを2基、氷を貯める貯氷庫は10トン貯めることができ、2基設置する。

栗の里公園添賀線 地すべり調査設計

問

業務内容は。

答
(産業経済課)

現在、山留ブロックの全面に大型土のうを置き、山が動くのを止めている。今回は、地すべりを起

こしている土塊面を確認し、恒久的に抑えるための調査設計業務である。すべり面がどこにあるのかを確認し、ボーリングを2カ所行い、山が継続的に動いていないかを観測し、対策工事の設計を行う。

橋梁長寿命化修繕計画

問

業務内容は。

答
(道路河川課)

平成21年度、22年度で295橋について、目視による点検業務は終わっている。

今回は、詳細な点検で出てきたデータをもとに、架けかえをするのか、補修で対応するのか、優先順位をどういう形にするのか、財政的な面を含め、修繕計画を立てていく予定である。

○産業建設委員会

委員長	正岡 千博
副委員長	日野 猛仁
委員	大西 誠
委員	青野 光
委員	田中 裕昭
委員	田中 弘
委員	高橋 佑弘

産業建設委員会では、次の所管の審査を行っています。

- 産業経済課
- 都市整備課
- 道路河川課
- 下水道課
- 農業委員会
- 地域事務所の所管部分

